

健康

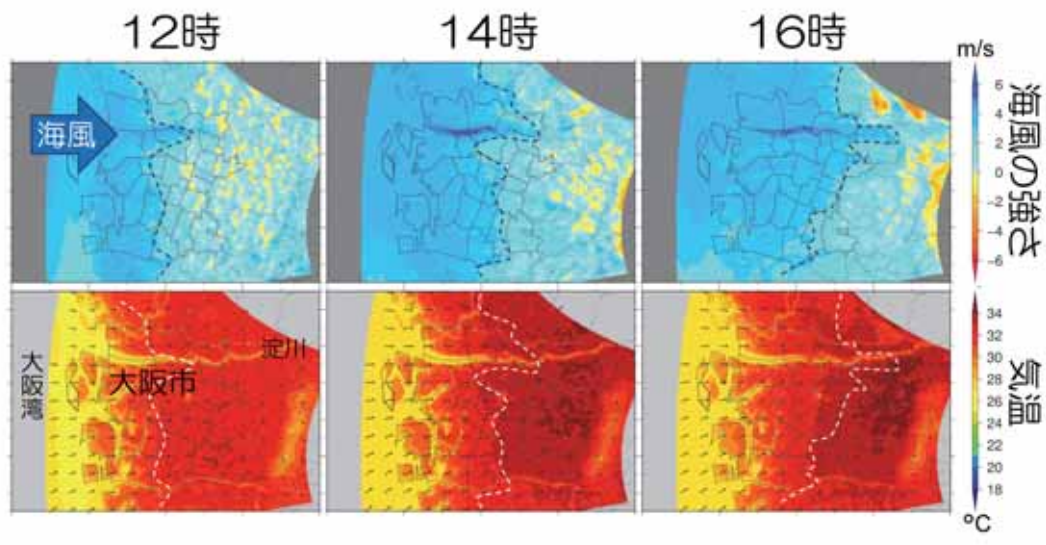
環境

サイエンス

## 「風の道」をゆく

「風の道」をご存じですか？熱中症リスクが高まる暑い夏、大阪では大阪湾から涼しい海風が吹いており、この海風の通り道となるのが「風の道」です。大阪市では、ヒートアイランド対策のひとつとして風に配慮したまちづくり、「風の道」事業を推進しています。環境科学研究所では気象モデルによるシミュレーションやヒートアイランド観測網のデータ解析を通してヒートアイランド対策や熱中症予防に役立つよう研究を行っています。

図はどこで・どれくらいの海風が吹いているのか、天気予報にも使われている気象モデルを使ってシミュレーションし、調べた結果です。夏のある日の大阪における海風の強さと気温の分布が再現されています。正午から夕方にかけて時間が進むとともに海風が大阪湾から内陸部へ入り込んでいく様子がわかります。中でも淀川沿いの地域がより内陸側へ海風が到達している様子が見て取れます。これが「風の道」です。気温の分布をみると、海風の入りこんでいるところが周りと比べて低くなっている様子もわかります。しかし、涼しい海風といえども市街地を通過する間に次第に暖められ、風下側へ行くほど冷やす効果が小さくなっていくと考えられます。研究所では、海風がどこまで・どれだけ街を冷やす効果があるのかこのシミュレーション結果をもとに調べています。



図：2010年8月2日を対象とした数値シミュレーションによる海風（マイナスの値は陸風）と気温の時間変化。点線は海風の先端部分（海風前線といいます）を示します。図の右側方向が海風方向になるように地図を調整しています。

（都市環境グループ 奥 勇一郎）